

News Release

2009年11月3日

ディーリンクジャパン株式会社

D-Link と Kaspersky Labs がテクニカルアライアンス契約を締結

ネットワーク機器・製品ソリューションをグローバルで展開する D-Link Corporation は、セキュアコンテンツ管理ソリューションのリーディングカンパニーである Kaspersky Lab と D-Link グローバルアライアンスプログラムの技術パートナーとして契約を締結したことを発表しました。この技術パートナーシップは D-Link UTM ファイアウォールソリューション(DFL シリーズ)の拡張と強化をもたらします。

Kaspersky Lab との技術アライアンスは、さらに強化されたアンチマルウェア テクノロジーを D-Link の UTM ファイアウォールソリューション DFL シリーズに提供し、ユーザは DFL シリーズを利用することで、ネットからの悪意のある攻撃から自社ネットワークを効果的に防御することができます。さらに今後、D-Link と Kaspersky Lab は、共同でプロモーション活動を行い、また新しいサービス開発や機能開発を共同で実施していきます。

「私たちはグローバルアライアンスプログラムを Kaspersky Lab と締結でき、非常に喜んでおります。彼らはインターネットセキュリティだけでなく、アンチウイルスとモバイルセキュリティでも、高いレベルの知識を提供する企業として評価しています。」とディーリンクジャパン株式会社代表取締役社長 Marty Liao は述べました。

ピーター・メルクーロフ Kaspersky Lab 技術アライアンス副社長は、「私たちは、D-Link とのビジネス関係を強化するこのアライアンスを締結できたことを歓迎します。」と返答しています。「サイバー犯罪などの脅威は拡大し続けており、D-Link のネットワーク技術と、Kaspersky Lab のアンチマルウェア技術を組み合わせることで、セキュリティ脅威から効果的にユーザを保護することが可能となります」

なお D-Link と Kaspersky Lab は SafeStream アンチマルウェアソリューションを D-Link の DFL-260, DFL-860 UTM アプライアンスへの実装にて、本アライアンス締結以前に既に協業しております。

D-Link のグローバルアライアンスプログラムに関する詳細は、<http://alliance.dlink-intl.com> をご参照ください。

【Kaspersky Lab 社について】

Kaspersky Lab は、ヨーロッパで情報セキュリティソリューションを提供する国際的なソフトウェア開発企業です。それはウイルス、スパイウェア、クライムウェア、ハッカー、フィッシング、およびスパムを含む IT 脅威から保護する製品を提供しています。Kaspersky Lab 製品は家庭でのユーザ、SMBs、大企業、およびモバイル・コンピューティング環境のための優れた検出率と産業の最も速い大発生の応答時間を提供します。Kaspersky[®] technology は、また世界中で産業の主な IT セキュリティソリューションプロバイダーの製品とサービスに使用されます。www.kaspersky.com をご参照ください。最大のアンチウイルス、アンチスパイウェア、アンチスパムそしてほかの IT セキュリティ問題やトレンドについては、www.viruslist.com をご参照ください。

【Kaspersky SafeStream について】

Kaspersky Lab の SafeStream 製品は最も広範囲に及ぶ危険なウイルス、トロイ、ワームそして他のマルウェアをワイヤスピードで検出するように設計されています。Kaspersky SafeStream は、ハードウェアアクセラレーション構造に適しています。それは高性能、アーキテクチャ、処理能力またはメモリにおける制限のため利用可能でない伝統的なアンチウイルスソフトウェアのプラットフォーム上のアンチウイルスフィルタを実現します。SafeStream は、国際的で、ストリームベースのウイルススキャン解決策を見いだすのに第三者パターン・マッチングエンジンと共に使用できます。

【D-Link 社について】

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーン IT”に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。

D-Link、xStack、及びロゴは D-Link Corporation もしくは関連会社の商標登録です。弊社製品に含まれる第三者の著作物(OSS その他第三者のプログラム等)については、謝辞表記のほか、各製品に同梱されている各著作物のライセンス等をご確認ください。